



ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス

ZEHを超えた超断熱住宅を体感しよう！

現場見学会 9/3(土)・4(日) 岡山市南区藤田 AM10:00~PM4:00

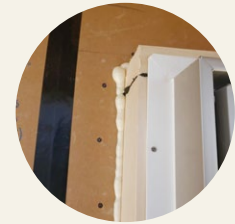
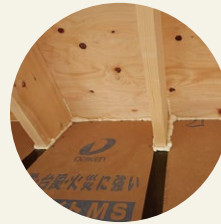
完全予約制

夏涼しく
冬暖かい！

目指すものはZEHを超える自然エネルギー住宅です。



今年発表されたZEHの岡山の基準はUa値* 0.60です。こちらの住宅はUa値0.30と熱損失をZEH基準の半分に抑える温熱設計です。気密と換気にもこだわり家の空気の流れをコントロールすることで、玄関先からトイレ・お風呂など家のすみずみまで温度変化の少ない、快適で健康な室内環境を目指しています。



*Ua値……建物内外の温度差を1℃とした場合に、部位ごとの熱損失量の合計を外皮等面積の合計で除した値。Ua値が小さいほど熱が逃げにくく、断熱性能が高くなります。

グラスウールもきちんと使えばとても優れた断熱材です。 今しか見られない、グラスウールをたくさん使った本当の高断熱施工を体感しよう！



グラスウールというとなぜだか性能が悪いと勘違いされていますが、断熱性能も高く、そして比較的安価なので大量に断熱材を使う超断熱住宅には最適であると思います。写真左側が120mmの高性能グラスウール16kを2層に敷きこんだ状態です。写真右側が横に向きを変えて90mmの高性能グラスウール16kを付加断熱した状態です。高性能グラスウール16kが合わせて330mmという厚みです。熱抵抗値は8.68です。

壁にもグラスウールを充填しました。壁には柱の幅いっぱいの120mmを充填しています。グラスウールに限らず充填する断熱は壁の厚みしか入れられないのが一般的な断熱施工ですが、こちらの住宅では外側へ更に断熱材を加える、いわゆる「付加断熱」を行います。なのでサッシが断熱材分前へ飛び出て出窓のような形になっています。



グラスウールの悪い点に『湿気でカビが生える』『湿気で重みでズレ落ちる』などと言われることが多いのですが、「防湿」さえしっかりと行えばそのような事は起こり得ません。ダクト周りや構造の貫通部などもしっかりとテープや防湿気密部材で処理します。

見られるのは
今だけ！

詳しくは、ソライエホームページをご覧ください。ご予約はメール(お問い合わせフォーム)またはお電話にて。